

ワーキングホリデー飯田 体験記

【事前】

インターネットにて、長野県飯田市役所農業課にワーキングホリデーを申し込む。

<http://www.city.iida.nagano.jp/waki/>

期間が決まっているようだが、8月後半に入れてもらう。(期間中に行くと、参加者が一堂に会する交流会があるようだ。)

【春】(4月28日~5月3日、5月2日~5日)

【秋】(11月3日~6日、11月20日~23日)

ボランティア保険に入れてくれるようだが、行き帰りの道中が心配だったので、自分でも3泊4日の旅行保険に加入する。

飯田市役所から受け入れ農家の書類が届いたので、「お願いします」の電話をし、ちょっと打ち合わせをする。インターネットの地図で農家の位置をプリントアウトする。

前日は持ち物の用意:

着替え、洗面用具、長袖、長ズボン、Tシャツ、半ズボン(Tシャツと半ズボンは寝巻きの代わりにもなるよ)、タオル、靴下、髭剃り、石鹸、シャンプー、うちわ、合羽、長靴、軍手、帽子、保険証コピー(つまり、旅行の用意と農作業の用意かな)

【1日目】8/22(火)

12時(正午)に農家に着く約束だったので、車で、とりあえず6時45分に家を出てみる。飯田市に着いたのが10時ちょっと前。3時間ぐらいで着いてしまった。2時間も早いので、喫茶店に入り、本を読んで時間をつぶす。(10時に開店していた店があったので助かった。)

11時30分に喫茶店を出て、農家に向かうが、まだ早い。近くに車を止めて、ポーッと景色を眺めている。

11時50分、10分前だけど農家に行ってみる。最初にネコ発見!主人もネコの近くにいた。持ってきた箱菓子(うなぎパイ)を渡し、家に上がらせてもらい、説明を聞く。ワーキングホリデーのほかにも中学生や子供会も参加しているようである。大阪の方の中学生は修学旅行で来るという。修学旅行では民泊して農作業のほか、他の施設にも泊まり、ラフティングや蕎麦うちなども体験するらしい。

10畳の部屋を借りることになる。テレビ、扇風機が付いていて猫もいる。

そのうち昼食になる。野菜を中心とした料理。素朴な食事であったが、野菜の本当の味が味わえる。これが本当のもてなしだろう。キュウリの味噌漬けというのも初体験。

昼食後、少し休憩をして、やる気満々でいたら、もう少し休憩するらしい。暑い昼はゆっくり休むのだろう。

2時頃から作業開始。主人がチェーンソーで柿の木を切るので、その伐採したものの運び出しを行う。木が古くなってしまったし、また人手もないので、柿の収穫が他のものの収穫と重なり大変である。だから、切ってしまうとのことだ。樹齢100年近いだろうか。運搬用のカートも使うことになるが、慣れるまでちょっと怖い。

飯田市というとリンゴが有名だと思っていたが、リンゴのほかにも柿、梨などが有名だそう。柿は干し柿にする。収穫時期になると、忙しいらしい。

まあ、とりあえず、切った木を運ぶ。3時に休憩。「紫蘇ジュース」をいただく。休憩中に雨が降ってきたので、外の作業ができなくなってしまう。そのため、干し柿を干す場所の片付けと掃除をする。・・・と、雨が上がったので、柿木の片付けの続き。

6時ぐらいに1日目、終了。夕食ではビールを出していただく。(市役所からの資料には「基本的に、夕飯時のお酒等の嗜好品は、農家では用意しません。また、たしなまれる場合は飲み過ぎない等で農家へ迷惑がかからない程度としてください。」と書いてあったのですが、出していただきました。ありがとうございます。汗をかいた後のビールは死ぬほどおいしかったです。)野菜が新鮮なカレーライスはおいしいね。夕食後、お風呂に入る。主人は町の寄り合いに出て行く。交通安全の会合らしい。田舎は忙しいねえ。私は、洗濯機を貸していただき、長

ズボンを洗濯する。

その後、布団の上でテレビを見てゆっくり過ごす。携帯電話で自分のブログに日記を送る。携帯電話なので入力がしづらく、簡単なブログしかかけない。その後、扇風機をかけて、適当に寝る。明け方は冷えてきたので、毛布をかぶる。寒暖の差が激しいねえ。

【2日目】8/23(水)

6時に起床。身支度をして、テレビを見ている。朝食は野菜たっぷりの味噌汁がおいしい。朝食後、ゆっくりとしている。

そして、今日も昨日の続きで柿木の伐採と運び出し。大きい幹はパワーシャベルみたいので持ち上げて切ったり、運んだりする。まわりの建物に木が倒れないように、注意しながら切る。

10時は休憩。紫蘇ジュースとスイカがおいしい。とても大きなスイカだよ。核家族化が進んで、冷蔵庫に入るようにと小さなスイカが流行っているようだが、やはりスイカは大きい方がいいねえ。

切った木は、近所の人(?)にストーブの薪としてあげる。(軽トラで持ちに来てもらう。)

昼食は、野菜を中心としたもの。新鮮でおいしい。ホッケの塩焼きもおいしかった。奥さんはいつ食事を作っているのだろうと思う。いつの間にかできている。

昼食後、昼寝をしてしまった。昼やゆっくりと休み、2時ごろから作業開始。枯れた梨の木の伐採もした。梨の伐採中、振動でとなりの木の梨が落ちたので、拾った。もらって帰ることにする。「後1週間ぐらいしないとおいしくない」と言われた。

3時には休憩。休憩はゆっくりと休み、作業を開始する。

果樹農家は機材の投資が大変だね。トラクター、パワーシャベルの小さいの、草刈り機、カートみたいの、農薬散布車、トラック(冬は雪が降るので、4WD、スタッドレス)お米を作っていれば田植え機と刈り取り機。(ちなみに、3回くらい雪かきをするそうだ。)

また、害虫(カメムシ)猪、猿などの被害もでる。まむしも出るらしい。

梨の木を切った時についていた梨は、パワーシャベルで穴を掘ってその中に入れる。

6時ぐらいに作業が終わり、お風呂に入り、夕食。奥さんが外出だということで、主人と2人で夕食。またまた、ビールを飲ませていただく。野菜の煮物がおいしい。おつまみにもご飯のおかずにもぴったり。箸が進む。とてもたくさん食べてしまった。(多分、ほとんど一人で食べてしまった。)

夕食後、テレビを見たり、ブログを送ったりして、ゆっくりと過ごす。

【3日目】8/24(木)

3日目だ。6時起床。筋肉痛。身体の下半身が痛い。それと、慣れない長靴で、靴擦れがいたい。でも、食事がおいしいせいか、ウンチも元気である。

本日も柿の伐採とその枝の運びだし。切る柿の木がたくさんあるんだよ。でも、10時から、東京大学農学部のワーキングホリデーの取材があったので、9時半ぐらいに休憩に入る。大きいスイカはおいしいねえ。

主人が取材に対応していたので、休憩後は、柿の木の、藁の敷き。これは、山の中腹にあるほかの畑の柿木でまだ若い木である。柿木の下のごみを取り、鎌で草を取り、柿木を中心に藁を敷く。(この状態はブログの写真を見てね。)山から見る景色はとてもよい。

農作業は非常に暑い。のどがカラカラになる。スポーツをする前にコップ1杯の水を飲むといいというが、これは農作業にもあてはまりそうだ。

12時ちょっと前に昼食で戻る。水をひたすら飲む。昼食はそうめん。冷たくておいしい。また、ショウガの薬味もいいね。

大学生は2時ごろまで取材をしていたらしい。主人は昼食を食べずに取材に応じていた。

昼の休憩後、藁敷きのつづき。午前中は喉が渴いたので、水筒を持っていく。(井戸水を入れていく。冷たくておいしい。)そして、ひたすら作業を続ける。暑いよ~!

3時ごろ休憩。

休憩後は、柿木の伐採。近所の人散歩に通る。ちなみに宅急便のトラックがよく通る。6時ぐらいに作業終了。

最後の晩だったので、夕方は、花果山水簾洞温泉（かかざん すいれんどう おんせん）に連れて行っていただく。立ち寄り温泉。露天風呂もあり、ゆっくりとできた。その後、農家に帰り、最後の夜だったので、夕食は御馳走していただいた。ありがとうございます。夕食時、ビールもしっかり頂く。暑かったからビールはうまいね。

夕食後、テレビを見たり、ブログを打ったりしてゆっくりと過ごす。

【4日目】8/25（金）

6時起床。やはり筋肉痛。靴擦れも痛い。朝から主人があわただしくダニに農薬散布を行っていた。農薬散布機があると便利だね。でも、畑が広いから、機械でないと大変なんだよね。

最後の朝食を摂る。今日も、実だくさんの野菜のお味噌汁がおいしい。

今日は、主人がダニの農薬散布をしていたので、リンゴの木に「土壌改良剤」を撒く。「土壌改良剤」と言っても安山岩か何かの粉末で自然のものです。20kgの袋に入っている土壌改良剤をバケツに移し、手でばら撒いていく。20kgといっても予想以上に重い。（日ごろの運動不足がたたっているか？）

カメシなどの昆虫が山から来て果樹に被害が出る。そのためリンゴ畑には、その対策もしている。リンゴ畑に夜、電気をつけておく装置があり、下に水が入っていて、その中に虫を落とすシステムである。（カブトムシやクワガタも来るよ。）気を使うことが多く、大変だね。これは、実際に体験してみないと分からないよ。

土壌改良剤散布の後、柿の伐採の続き。

10時ごろ休憩。

休憩後、柿木の伐採の続き。木陰は涼しいんだけど、日の当たるところは暑い。

まだまだ切るべき木はあるのだけれど、12時ちょっと前に終わり、シャワーを浴びる。

「ワーキングホリデーだから日当は出ないけど」と言って、リンゴジュースをいただく。申し訳ない。

昼食後、ちょっと一休みして、1時ごろ、車で帰宅。

お世話になった農家からちょっと山に登ると、別荘地もあるらしい。見学しようと思ったが、やめて自宅に向かう。

途中の道の駅（お城のような形をした建物）で「リンゴパイ」を買う。これは、職場へのお土産。リンゴパイとは長野県らしいね。

その次の道の駅（大きな人形みたいのがうちわを持って駐車場に立っていた）で「焼山栗」と「ジンギスカン」を買う。イノシシやシカの肉も売っていたが、今はやはり、ジンギスカンだね。山栗は味がいいね。でも、今は栗の季節じゃないや。秋のほうがおいしいんだろうな。

道の駅やサービスエリアはいろいろと特徴を出しているね。と思いつつ、車に乗り込む。

「まんぼう峠 前嶋屋」でプリン豆腐を買う。

夕方帰宅。家に帰って、すぐ飲み始める。そして、パソコンを起動し、4日間のたまったメールをチェック。

思えば、他人の家に民泊し、農作業をするというのは、貴重な体験だったと思う。日頃なかなかできることではない。また、その家庭の温かさ、そして自宅ではできないような農業体験・日常生活とは違った体験ができた。受け入れ農家の方でも気を使っていたき、自由時間はくつろぐことができた。農作業にも休憩時間などにも気を使っていたき、できることをやらせていただいた。素人が入るということは、あしでまどいになり迷惑になったのではないかと思うが、快く受け入れてくれた。

今回は、リンゴの収穫の時期など、私の感じている長野県らしい作業に体験を試みたい。

そして、将来的には、こういうところにログハウスを建て、ストーブで火を焚いて、のんびりと過ごしたいなあ。景色を見ながらボーッと時間を過ごす日があってもいいと思う。

木の伐採中に落ちた梨、「おいしくないよ」と言われたけど、食べてみた。甘くてみずみずしくおいしかったです。頂いたリンゴジュースもおいしかったです。さすが本場だねと思いました。

また、飯田市役所農業課に申し込めば、簡単にワーキングホリデーができるこのシステム、いいねえ。世の中

には WWOOF とかグリーンツーリズムとかあるけど、飯田市役所農業課の対応もよかった。受け入れ期間外でも、農家を探してくれて受け入れてくれた。ボランティア保険に入っているというシステムもいいねえ。

【事後】

飯田市役所にメールにてアンケートを送る。また、お世話になった農家に礼状を送る。